

令和5年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

# 科目名：比較政治

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計2ページで4問ある。

1. 比較政治学
2. アメリカ政治

4問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 比較政治 出題分野名 比較政治学

問題1 「政治文化」とは何か明確に定義したうえで、それは政治現象の説明においてどのような点で重要だと考えられるか、具体的事例に言及しつつできるだけ多角的に論じなさい。

問題2 以下の問いから1問を選択し、解答しなさい。解答の冒頭に選択した番号を必ず明記すること。

(1) 政治において「階級」はどのような役割を果たしてきたか、またそこにどのような背景のもと、どのような変化が生じ、そのことが現代の政党政治にどのような影響をもたらすものと考えられるか、ヨーロッパ諸国における具体的事例に言及しつつ論じなさい。

(2) 二院制が採用される理由について説明したうえで、両院の関係は議会の意思決定過程にどのような作用を及ぼすか、またどのような条件のもとで良好に機能すると考えられるか、複数の具体的事例に言及しつつできるだけ多角的に論じなさい。

科目名 比較政治 出題分野名 アメリカ政治

**問題1** 合衆国憲法修正14条がいかなる規定であるかを明らかにした上で、第二次世界大戦までの連邦最高裁による解釈の変遷がアメリカ政治に与えた影響について、できるだけ多面的に論じなさい。

**問題2** 以下の問いから1問を選択し、解答しなさい。解答の冒頭に選択した番号を必ず明記すること。

(1) アメリカ連邦議会における「委員会政府」とは何であることを明らかにした上で、それが1970年代以降になぜ、どのように変化したのか。できるだけ多面的に論じなさい。

(2) 今日のアメリカ政治では二大政党間の対立が深刻化し、政策過程が行き詰まっていると指摘される。主要政党間の対立は各国の政治において珍しいことではないにもかかわらず、アメリカではなぜ政策過程の行き詰まりにつながるのか。できるだけ多面的に論じなさい。